

秘め隠されし楽園

～A Beilled Paradise.

【日陰者の小唄、或いは楽園への秘鍵】

ひとつひそかな ひかげもの ふたつふかしぎ ふりさけみ みつつみぎわと みまごうて
よつつよすがら よばはれて いつつつから いむまれし むつつむかしは むこなるか
ななつままへは なぎものに やつつやさかに やすかれと このつこころ ことばなり

私たちは、人間から忘れられたか、この科学世紀を経て人間から「存在しない」とされたものたちです。そのため、この世界で私たちは、どうしようもなく“異物”でした。しかし、それでも続く明日のために生きていかなければなりません。ですので、私たちは人間たちには見つからないよう自分自身を秘め隠し、お互いに協力することにしたのです——人間社会の只中で私たちが作り上げたこの楽園が、いつまでも続きますようにと祈りながら。

〔アスペクト生成質問〕

- **私たちと人間について。** 私たちと人間には明確に差が存在しています。それはどのような違いですか？
- **信仰。** 私たちはこの楽園で、縋るように何かを信じ続けています。それはどういったものですか？
- 〔自由アスペクト〕。自由に決めてください。

〔共同体への質問〕

- この共同体に入るためのイニシエーション（儀式）はどういったものですか？
- 私たちが暮らしている周辺環境はどのような状況ですか？
- 私たちがこの生活を維持するために必要な糧はどうやって得ていますか？
- この共同体で私たちが決して破ってはいけない禁忌は何ですか？
- どうして私たちは人間に依存（寄生）しなければならないのでしょうか？

名前

共同体の全員が同じような雰囲気・法則性のある名前であるとよいでしょう。バラバラの存在の集合体であるならば、名前もバラバラであるかもしれませんが。

〔時代の移行〕

〔時代〕2へ移るにあたって〔展開〕を（黒い左欄か、赤い右欄か）選ぶ。以降は、選んだ方の〔展開〕が続く。

〔時代〕2へと移る。〔アイソレーション〕の終わりを予感させる出来事。それはあらゆる会話の中に潜んでおり、無視などできない。

私たちのアイソレーションに、自身を研究者と名乗る者が現れました。彼は私たちに「新たな技術」の保持者であると話し、私たちについて研究させてほしいと言ってきています。彼の属している組織は世界的に見てもかなり大きな力を持っていると推察できます。私たちは彼をどのように遇すべきなのでしょう。

不穏な噂が流れています。それは人間たちが私たちに殺す（あるいは生まれなくする・消し去る）方法を作り上げたという噂です。もしやこのコミュニティの中に既に、私たちに完全なる「死」をもたらす者が存在しているのではないか——そう考える者がいたとしても不思議ではありません。私たちはどうこれからを過ごしていけばよいのでしょうか。

〔時代〕3へと移る。予期されたことが起きてしまう。〔アイソレーション〕の終わりは近い。この定めからは逃れられない。

「新たな技術」と称された私たちそのものが、科学的に解明されたという発表が大々的に行われました。人間にとって有益な存在であると私たちは認められたのです。その後、私たちは「新たな技術」の体現者として保護されました。ただ、人間たちが私たちを実験動物として見ているように思えることは気がかりですが。

複数の同胞の「殺害」が発見されました。どのような事件であったにせよ、世の中の動きを見るに、人間社会の公共機関は全てこの一件については黙殺・隠蔽することを決めたようです。つまりは、人間たちは私たちを一切助ける気がないということなのでしょう。私たちはひしひしと迫る滅びに、どう対処すべきなのでしょう。

〔遺されゆくもの〕へと移る。最後の瞬間、またはその結果。

私たちの元に、人間側からメッセージが送られてきました。それは、聞こえの良い言葉で「私たちにこれから家畜とみなす」と書かれています。人間は、そうすることが社会のために有益であると考えているようです。これまでの自由を完璧に手放さざるを得ない命令に、私たちは従うべきなのでしょう。それとも、ほかの道を探すべきなのでしょう。

ついに最悪の予測が現実となってしまいました。世界各国で密かに私たちは「悪」であると断じられ、その存在は根絶すべき対象であるとされました。そして、ありとあらゆる場所で同胞の虐殺が始まっています。私たちの拠り所は、すでに焼かれ暴かれ壊されました。私たち自身にその凶刃が振り下ろされるのも時間の問題です。私たちは、ひとりひとりこれからどうすべきかを決断しなければなりません。

ちかま

本文

編集

イラスト

このバックドロップは、ロールプレイング・ゲーム『ダイアレクト』(Thorny Games)のアクセサリです。『ダイアレクト』について興味がある方は、harrowhill.rdy.jpをご参照ください。

遊ぶにあたって、このバックドロップは自由にコピーしていただいて構いません。またクリエイティブ・コモンズ「表示-非営利-継承」ライセンス範囲内で自由にご利用いただけます。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/deed.ja>

This backdrop is copyright 2023 by Chikama, twitter id:chiiikama11.

Dialect is copyright 2017 by Thorny Games, LLC. All rights are reserved. Japanese translation published by arrangement with Thorny Games Publication. © 2020 by Harrow Hill.

